

学校教育目標		夢大きく 自ら伸びる 心豊かな児童の育成 ～一流めざせ 日本一に囲まれた瀬小っ子！スイッチ オン～			
a ミッション	○地域の強みを生かした小中高連携による瀬戸田教育の創造 ○グローバル社会に生きる故郷創生と人づくり（自分を愛し、夢を語る児童の育成）	a ビジョン 地域から信頼され、児童や教職員が自校や地域に誇りが持てる学校	めざす子ども像 ○「自ら伸びる」意志を持つ子 ー 元気・挑戦・笑顔・感謝 ー ○人を大切にする子		

尾道市立瀬戸田小学校

評価計画					自己評価					学校関係者評価			改善計画		
	b 中期経営目標	c 短期経営目標	d 目標達成のための方策	e 評価指標	f 目標値	7月	1月	h 外部評価者数	i 評価	j 結果と課題の説明	k 二次評価			l コメント	m 改善案
						g 達成率	g 達成率				イ	ロ	ハ		
確かな学力の向上	「学びと育ちの連続性」を基盤に確かな学力の定着を図る教育活動の推進	基礎学力の定着	①モジュール学習を導入した基礎学力の定着	○アンケートでモジュール学習が「授業の役に立っている」と感じている児童の割合90%以上 ○国語の読解80% 算数の知識80%の割合85%以上	100%										
		主体的な学びの推進	①学期に1回以上、課題解決学習を実施	○3年生以上の自主学習ノートの実施90%以上 ○授業アンケートで「自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる」の項目が80%以上	100%										
		読書教育の推進	①読書貯金を活用した読書活動の推進	1年 年間100冊 (月10冊) 2～4年 1000ページ (月100ページ) 5～6年 3000ページ (月300ページ) 読んだ児童が90%以上	100%										
豊かな心の育成	お互いを尊重し、自ら考えて進んで行動ができる子どもに育てる生徒指導体制の確立	場や相手に応じた行動の定着	児童と教職員が行う「生活習慣4項目」の取組の徹底と重点週間の設定・月末ごとの実施と取組	児童の自己評価、アンケート（ふりかえり）の結果	100%										
			①お礼や感謝の気持ちを素直に伝えることができる児童の育成	○「ありがとう」などのお礼の言葉を1日5回以上言うことができる児童85%											
			②家族や友だち・先生以外の人にも大きな声で挨拶ができる児童の育成	○家族や友だち・先生以外にもすすんで挨拶ができる児童50%											
			③相手意識を持った正しく優しい言葉づかいができる児童の育成	○「です・ます」を使ったり、友だちに優しく声をかけたりすることができる児童90%											
健やかな体の育成	心身の健康や、体力の向上を図る教育活動の推進	自ら健康な体を維持するための生活習慣の定着	体力づくり・生活習慣3項目の取組の徹底と重点週間の設定・月末ごとの評価の実施と取組の改善	児童の自己評価（ふりかえり）の結果	100%										
			①自ら進んで外遊びをし、体力を高めようとする児童の育成（週に1回以上学級遊びを行う。）	○大休憩か昼休憩いすれかの時間に外遊びをしている児童の割合80%以上											
			②「早寝早起き」をすることによる健康の推進・生活習慣の定着	低：9時 中：9時半 高：10時 ○就寝 起床 6時半 の児童の割合85%以上											
			③栄養のバランスを意識している児童の育成	○給食で苦手なものを半分以上食べている児童の割合80%以上											
信頼される学校づくり	安心・安全な学校づくりの推進	保護者の瀬戸田小教育に対する満足度の向上	①学校生活に関する保護者アンケートの実施（運動会・音楽発表会・7月・12月・2月） ②運動会・音楽発表会の地域アンケートの実施	○「楽しく学校に来ている」と思っている児童が95%以上 ○「学力が身に付いている」と思う保護者が90%以上 ○地域アンケートの肯定的評価が95%以上	100%										
			①児童の出席数の増加	○無欠席児童が、毎月80%以上	100%										
			①保幼小中高連携の充実による「瀬戸田教育」の推進	○保幼小中高連携の会に年間3回以上参加した職員	100%										

【自己評価 評価】
A：100≦（目標達成） B：80≦（ほぼ達成）＜100 C：60≦（もう少し）＜80 D：（できていない）＜60

【外部評価】 イ：自己評価は適正である。ロ：自己評価は適正でない。 ハ：わからない。